



2013年3月1日
東経連ビジネスセンター

PRESS RELEASE

㈱齋栄織物 東北発の世界ブランドを目指し新ブランド・デビュー ～東経連ビジネスセンター『マーケティング・知的財産事業化支援事業』～

東経連ビジネスセンター『マーケティング・知的財産事業化支援事業』支援対象企業の齋栄織物㈱（福島県伊達郡川俣町）は、日本橋三越本店で3月6日～19日に開催されるイベント「ONLY MI」（オンリー・エムアイ）の中に設ける「春のオンリー企画『JAPAN STOLEY FACTORY解放区』」において、コーポレート・ブランドと世界一薄い絹で注目されるフェアリーフェザーのプロダクト・ブランドを立ち上げました。また、新ブランド・デビューに併せて、新商品の発表を行います。

齋栄織物㈱は昨年度の第4回ものづくり日本人大賞で内閣総理大臣賞を受賞する等、我が国のモノづくりを支える技術力の高い企業でございます。このたび、東経連ビジネスセンターでは、我が国が誇る技術力の高い齋栄織物㈱の高付加価値化をブランディングによりサポート致しました。支援を担当した東経連ビジネスセンター・マーケティング支援チーム・ディレクターの豊隅優氏（日本ブランドアソシエイツCEO）は、ブランディング・ディレクターとしての25年の経験と多様な1000ブランディングの実績を持つとともに、大企業やグローバル企業のブランディングをはじめ、中小企業や地域ブランディングなど幅広い経験を持つ日本を代表するブランドコンサルタントであります。

引き続き、東経連ビジネスセンターでは、東北発の世界ブランドの誕生を目指し支援に取り組んで参ります。

(コーポレート・ブランド)



(プロダクト・ブランド)



注) 世界一薄い絹「フェアリーフェザー」

(ブランド・スローガン)

SILK INNOVATION™

シルクが世界を変える

【問合せ先】

東経連ビジネスセンター 西山、竹内

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10 セントレ東北 11階

(社団法人 東北経済連合会 事務局内)

Tel. 022-225-8561 Fax. 022-262-7055

<http://tokeiren-bc.jp/>



<参 考>

(基本デザイン要素一覧)

[コーポレート・ブランド]



注：正方形のブランドシンボルのマークは、繊細なシルクをモチーフにデザインしたものです。

[プロダクト・ブランド]



注：世界一薄い「フェアリーフェザー」は、「妖精の羽」を意味します。

[ブランド・スローガン]

SILK INNOVATION™

シルクが世界を変える

注：シルクの無限の可能性をスローガンに込めています。



I. 東経連ビジネスセンターの概要（平成23年4月設立）

1. 目的

東北7県の産学官＋金融が総力をあげて、“Innovation for Growth”をスローガンに東アジアの技術・生産開発拠点の形成を見据えつつ、大震災からの復興等の支援を通して、東北の国際競争力強化及び雇用の創出を図る。

2. 活動期間

5年間（平成23年4月～平成28年3月）

3. 組織形態

東北7県の産業支援機関、大学等研究機関、大手企業等を会員とする任意団体

4. 活動経費

年間9千万円程度

5. 事務局所在地

社団法人東北経済連合会 事務局内（宮城県仙台市）

6. 主な事業内容

- （1）マーケティング・知的財産事業化支援事業
- （2）産学連携・アライアンス支援事業
- （3）グローバル・ビジネス支援事業
- （4）ビジネス講座事業

II. マーケティング・知的財産事業化支援事業

1. 目的

マーケティング、知的財産、セールス、ファイナンス分野のハイレベルな専門家による当センターの支援チームが、技術力の高い中堅・中小ベンチャー企業の新製品・新商品・新サービスの事業化を、戦略的かつ実践的に支援します（原則1年間）。

2. 応募資格

（1）企業の要件（以下の全ての要件を満たすこと）

- ① 主たる事業拠点を東北7県（含新潟県）に置くこと。
- ② 高い技術またはノウハウ等を持つこと。

（2）支援事業の要件（以下の要件を概ね満たすこと）

- ① 「新技術による新商品・新製品・新サービスの事業化」、「既存技術を用いた新たな市場の参入による新商品・新製品・新サービスの事業化」など、イノベーション創出による成長を目指すこと。
- ② 原理確認が終了した試作品が完成しており、マーケティング・リサーチを行うための、モニタリングの準備ができること。
- ③ マーケティング戦略の仮説（何を差別化のポイントにして誰に売りたいか等）を持っていること。



- ④ 開発計画だけでなく、実売計画を具体的に検討していること。
 - ⑤ 特許、商標など、知的財産戦略を検討する意思を持つこと。
 - ⑥ 社長以外に営業企画等、専任の担当者を置いて支援を受けられること。
 - ⑦ 既存の営業費・販促費は措置されていること。
3. 支援分野 （下記の7分野から、事業テーマに応じた支援チームを編成します）
- ① マーケティング戦略立案・実行支援
ネットリサーチ、フォーカス・グループ・ミーティング等のマーケティング・リサーチに基づく、差別化ポイントの明確化及び価格、流通、プロモーション等の戦略構築支援
 - ② ブランディング支援
ネットリサーチ、ネガティブチェック等によるブランドネーム、ロゴ、シンボル等ブランド要素の構築支援
 - ③ 営業販促ツール・ホームページ強化支援
マーケティング・リサーチに基づく、営業販促ツール、ホームページの改定のアドバイス
 - ④ セールス戦略支援
マーケティング・リサーチに基づく、新たな販路開拓支援
 - ⑤ 知的財産戦略支援
特許、商標の出願、補正の実施および戦略構築支援
 - ⑥ 法務支援
販売契約書等の法務チェック支援
 - ⑦ ファイナンス戦略支援
資本政策等に関するアドバイス
4. 支援の特徴 （民間支援ならでの、実効性ある4つのメリットが特徴です）
- ① 当センターで編成する支援チームのサポート費用は、200万円まで負担します。
（当センターから支援チームへ直接支払）
 - ② 年度の区切りに関係なく、支援決定から12ヶ月間サポートを受けることができます。
（例えば9月～翌年8月など）
 - ③ 常時募集していますので、貴社の事業進捗等に応じていつでもお申し込みいただけます。
 - ④ 国や県など公的助成に認定されている事業に、当センター事業をセットして追加支援・連携支援することが可能です。

以 上